

2026年度 KLLP活動予定報告会

岡島 ゼミⅠ・基礎ゼミⅡ

大阪大谷大学人間社会学科 松田（2回生）、古林・藤本（3回生）



1

報告の概要

- + 子どもの権利および関連政策の動向
- + ゼミⅠの取組予定
- + 基礎ゼミⅡの取組予定



2

2

子どもの権利と関連する政策の動向

1989年 子どもの権利条約 国連で採択
 1994年 子どもの権利条約 日本の国会で批准
 2023年 こども基本法 施行（4月）
 こども家庭庁 発足（4月）
 こども大綱 閣議決定（12月）

2026年 富田林市こどもの権利条例制定（議決）

3



とんだばやし
こどもの
権利条例
ができました！

令和8年7月
スタート！

差別の禁止
差別のないこと

すべての子どもは、子ども自身や親の国籍、性別、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

生命、生存及び発達に対する権利
命を守られ成長できること

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた大切な力を十分にその子のペースで育めるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。

子どもの最善の利益
子どもにとって最もよいこと

子どもに直接・間接に関わることが決められ、行われるときは、「子どもが一番大切にしていること・最もよいこと」を第一に、子どもと一緒に考えます。

子どもの意見の尊重
意見を表明し参加できること

子どもは自分にかかわるあらゆることについて、自由に意見を表すことができ、おとなはそれを子どもの発達に応じて真摯に受け止め、一緒に考え行動していきます。

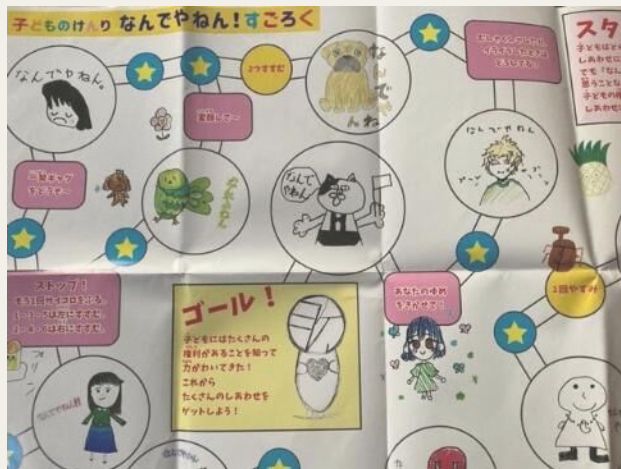
すべてのこどもに「こどもの権利」があります。

富田林市のみんなで「こどもの権利」を守って、こどもがひとりの人間として、自分の気持ちや考えを大切にされ、自分らしく、安心して、幸せに生きることができる富田林市をつくっていきましょう。

4

岡島ゼミⅠの取組内容

子どもの意見形成支援ツール「なんでやねん！すごろく」体験会の開催



5

こどもの意見表明および参加

第12条 こどもは、自由に自分の意見等を表明することができ、自分に関わることに参加することができます。

2 こどもは、意見等を表明するために、必要な情報を得たり、意見等を形成するための支援を受けたりすることができます。

3 市、保護者、市民等および育ち学ぶ施設等は、こどもに意見等の表明を強要し、または表明したことによる不利益な取扱いをしてはいけません。

4 市は、こどもに関することについて、こどもが意見等を表明できる機会を設けます。

5 市は、こどもに関する施策の立案、実施結果の評価等を行うときは、こどもに意見等を聴き、こどもが意見等を表明し、または参加できる機会を設けます。

6 市は、前項の機会を設けるときは、こどもの年齢、発達および状況に配慮した多様な手法を用います。

7 市は、こどもの意見等を尊重し、こどもに関する施策等に反映するよう努めます。

8 市は、こどもの意見等に対し、こどもにフィードバックする機会を設けます。

9 保護者、市民等および育ち学ぶ施設等は、こどもに関することについて、こどもが意見等を表明できる機会を設けるよう努めます。

6

岡島ゼミⅠの取組内容

- +開催日：2026年11月初旬（予定）
- +会場：∞KONROOM（予定）
- +主催：岡島ゼミⅠ
- +講師：岡島ゼミⅠ学生
- +目的：子どもの意見表明権保障や
意見形成支援とはどういうことかを知り、
関心をもつおとなを増やす



※写真は昨年度のもの

7

7

岡島基礎ゼミⅡの取組内容

- +開催日：2026年7月15日（水）
- +会場：富田林市立葛城中学校
- +主催：岡島ゼミⅠ
- +講師：ゼミ生自身
- +対象：1年1組・2組・3組の全生徒
- +内容：こどもの権利授業



※写真は昨年度のもの

8

8

+目的：

- ・子どもの権利条約について知ってもらうため
- ・自分と他者の権利を尊重してもらうため

こどもの権利の周知および啓発

第10条 こどもは、子どもの権利条約およびこの条例について、知ることができます。

2 市は、こども、保護者、市民等、育ち学ぶ施設等および市の職員が、こどもの権利について理解と関心を深めることができるよう、子どもの権利条約およびこの条例の積極的な周知および啓発を行います。

3 市は、こどもがこどもの権利を学ぶ多様な機会を設けます。

4 市は、保護者、市民等、育ち学ぶ施設等および市の職員が、こどもの権利を知る多様な機会を設けます。

5 市は、こども、保護者、市民等および育ち学ぶ施設等が、こどもの権利について理解と関心を深めることができるよう、富田林市こどもの権利の日を定めます。

6 富田林市こどもの権利の日は、11月20日とします。

9



こどもの権利について「もっと知りたい!」という
関心の醸成を目指します

10



KLLP活動計画

王地ゼミ

市川・後藤・橋本

目次

- ・活動内容
- ・わっくカフェについて
- ・提供商品
- ・今後の計画と予定
- ・ターゲットについて
- ・活動によって得られる効果

活動内容

王地ゼミ所属学生7人で活動予定

金剛地区活性化のため、小さなお祭り開催

近年、金剛地区は過疎傾向にある。そこで、私たちは金剛活性化に向けて金剛団地の中にあるカフェを半日借り、小さなお祭りを開催する。

→わっくカフェ

日程：8月1日予定



わっくカフェについて

提供商品

【お祭りを意識】

フランクフルト

たこ焼き

かき氷

卵せんべい

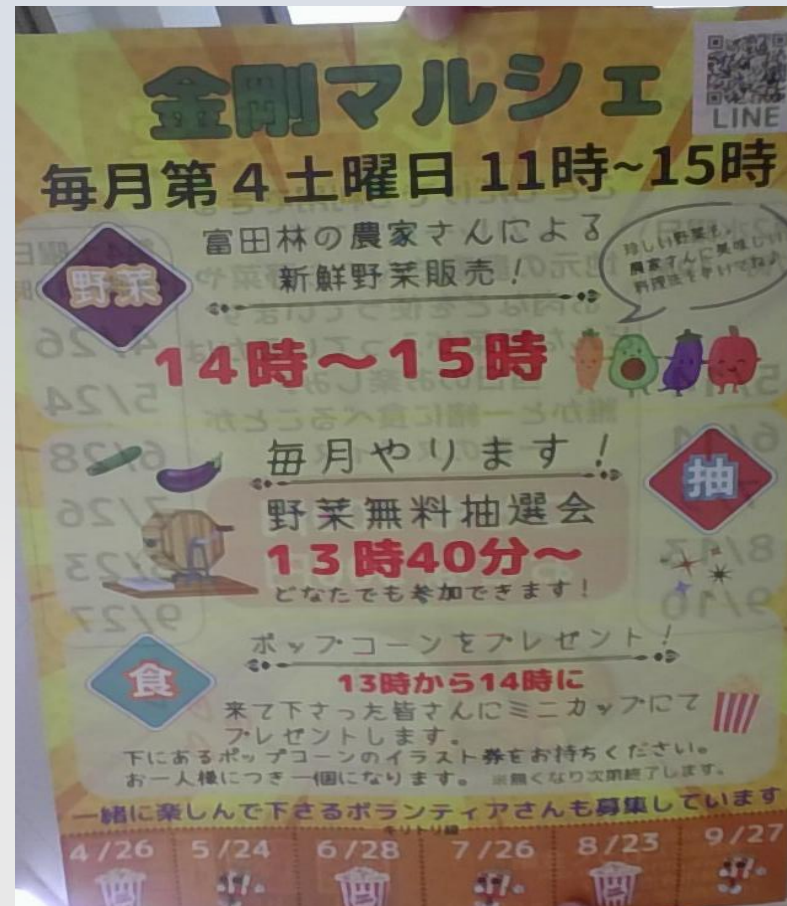
スーパーボールすくい

etc.....

The background of the slide is composed of various abstract, rounded shapes and spheres in shades of blue and purple. These shapes are distributed across the frame, with a larger, more complex shape on the left side and several smaller spheres scattered throughout. The overall effect is a soft, bubbly, and modern aesthetic.

今後の計画と予定

事前に小学校にわっくカフェのチラシを配布



参考チラシ

今後の予定

【メンバーで役割分担】

買い物

店準備

宣伝

→わっくカフェ周辺、または駅の中でチラシ配り

ターゲットについて

The background features a large, abstract, organic shape on the left side, rendered in shades of blue and purple with a soft gradient. This shape has several rounded protrusions and indentations, resembling a stylized cloud or a cluster of bubbles. Scattered around this main shape and across the rest of the light blue background are numerous smaller, smooth spheres of varying sizes, also in shades of blue and purple, creating a bubbly, dynamic feel.

活動によって得られる効果

ご清聴
ありがとうございました

2026年6月6日（土） KLLP活動予定報告会

地域の日本人住民と外国人住民との 多文化共生サポートプロジェクト

大阪大谷大学 日本語日本文学科 杉本ゼミ
（ゼミ生：友永彩弥音、中野遥）

発表者 友永彩弥音

目的：地域の日本人住民と外国人住民との交流と相互理解の
きっかけをつくる

活動：イベント企画・運営

想定される効果：

金剛地区を含むすべての人々が、さまざまな国の文化や言語を楽し
しみ、関心を持つことによって、その国の人々と関わることへの
ハードルを下げること。

イベント内容

テーマ：ネパールの文字に触れる

協力：LOVE NEPAL、南海電鉄、ボランティア学生

日時：2026年7月28日（火）18：00～20：00

場所：LOVE NEPAL金剛店（南海金剛駅前）

活動：企画・運営、ポスター制作・掲示、アンケート作成

内容：カルタなどのゲームを通してネパールの文字を学ぶ
ネパールの食事を楽しむ（ラッシー、チーズモモ）

実際に文字を書く

書いた文字をアクセサリーにする（キーホルダー）



今後の予定

- ・ 多文化交流イベントの企画
(脱出ゲームなど)

富田林市の小地域ごとの特徴が分かる 資料・教材作成の試み

大阪大谷大学 江上ゼミナールⅠ（3年生ゼミ）

芦生拓未、泉本源太、小辻翔真、平松雅史

一昨年度の取組

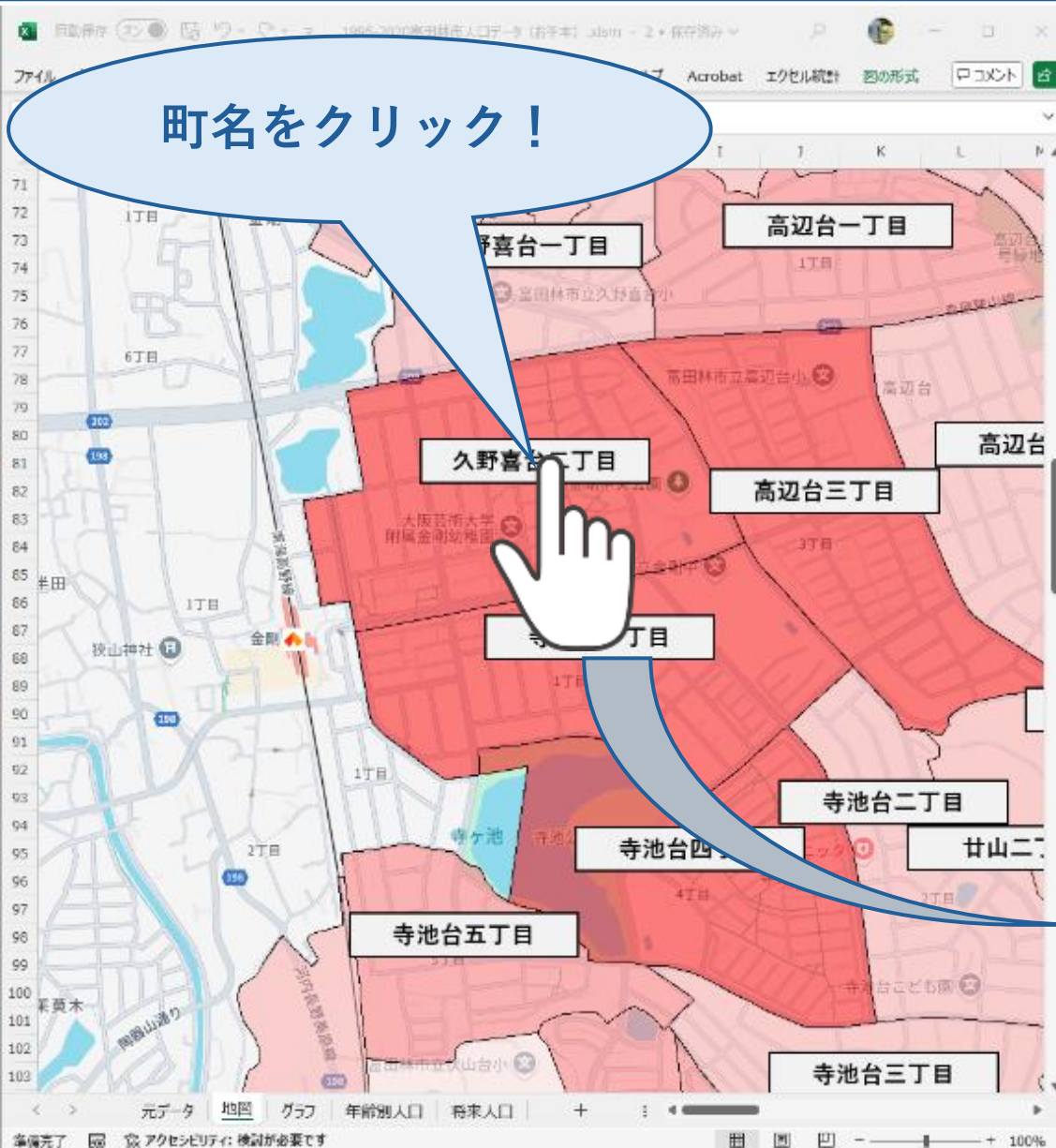
● 富田林市の小地域ごとの特徴が分かる資料・教材の作成

- 昨年度はe-Stat 等にある既存の統計資料をもとに、
富田林市の小地域ごとのデータを閲覧できるExcel ファイルを作成
- 具体的には、
「**小地域別の男女別・5 歳階級別人口データ**」
「**小地域別の将来人口推計（2025～2050 の 5 年ごとの人口）**」
を閲覧できる資料を作成した。

※小地域…「〇〇1丁目」や「大字〇〇」といった区域

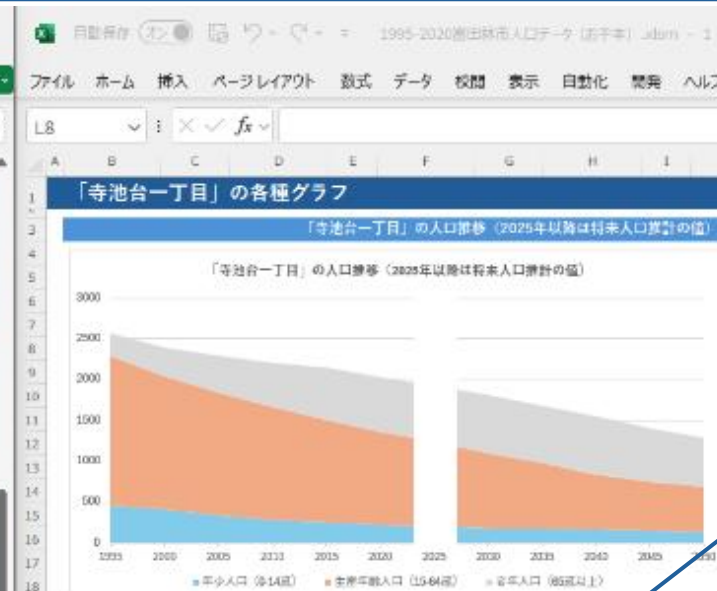
一昨年度作成した資料のイメージ

町名をクリック！



「寺池台一丁目」の各種グラフ

「寺池台一丁目」の人口推移 (2025年以降は将来人口推計の値)



左側の地図上にある町名をクリックすることで、右側にその小地域のデータが表示される。

各年度別の「寺池台一丁目」の人口ピラミッド

2000年			2020年			2040年		
男	女	人口	男	女	人口	男	女	人口
6	11	90-	10	15	90-	29	72	90-
6	10	85-89歳	25	44	85-89歳	28	56	85-89歳
14	14	80-84歳	36	76	80-84歳	38	61	80-84歳
18	42	75-79歳	43	78	75-79歳	54	86	75-79歳
51	51	70-74歳	93	101	70-74歳	55	80	70-74歳
53	84	65-69歳	5	82	65-69歳	64	82	65-69歳
63	90	60-64歳	5	75	60-64歳	54	54	60-64歳
65	84	55-59歳	34	99	55-59歳	34	35	55-59歳
78	84	50-54歳	34	86	50-54歳	33	44	50-54歳
66	90	45-49歳	73	90	45-49歳	37	44	45-49歳
73	90	40-44歳	60	59	40-44歳	26	23	40-44歳
90	111	35-39歳	37	38	35-39歳	19	26	35-39歳
113	114	30-34歳	35	46	30-34歳	20	32	30-34歳
67	127	25-29歳	42	51	25-29歳	26	33	25-29歳
50	69	20-24歳	37	35	20-24歳	23	42	20-24歳
57	48	15-19歳	32	42	15-19歳	32	34	15-19歳
51	49	10-14歳	32	48	10-14歳	30	29	10-14歳
72	63	5-9歳	37	43	5-9歳	28	28	5-9歳
41	70	0-4歳	25	38	0-4歳	25	24	0-4歳

なぜ「資料・教材作成」の取組を行うのか？

- 大阪大谷大学の学生は、
必ずしも元から富田林市に縁のある学生ではないため
 - 例えば、一昨年度のゼミ生5名の学生の中で、
活動前から「金剛地区」を知っていた学生は1名のみ
（その1名はボランティア活動で訪問経験あり）
 - 今後、学生が新たに地域連携活動に取り組む際に、
街の概要をあらかじめ把握しやすい資料があると便利ではないかと考えた。

昨年度の取組（「現状の把握」と「更なる地域情報の取得」）

● 「現状の把握」のための「富田林市の認知度調査」

- 大阪大谷大学の学生が、富田林市のことをどの程度認知しているのかの調査
- 他の自治体による認知度調査を参考に設問を設計

● 「更なる地域情報取得」としての「Googleマップの各スポット情報の取得」

- Googleマップに記録されている富田林市の各スポットの情報を取得する
- スポット情報を小地域別に整理し、各地域の特徴を把握できるようにする

スポット情報の例



認知度調査 結果①

● 富田林市全体の認知度・訪問経験

認知度・訪問経験	件数	(割合)
行ったこともなく、場所もしらない	5	(2.9%)
行ったことはないが、おおよその場所はわかる	17	(10.0%)
1～数回行ったことはある	39	(22.9%)
度々訪問する機会がある	82	(48.2%)
居住経験がある	26	(15.3%)
無回答	1	(0.6%)
合計	170	

- ➡約35%の学生が「1～数回」以下と回答
- ➡大学の所在地をあまり把握していない？

認知度調査 結果②

● 富田林市全体の認知度・訪問経験

認知度・訪問経験	1回生	2～4回生
行ったこともなく、場所もしらない	5	0
行ったことはないが、おおよその場所はわかる	12	5
1～数回行ったことはある	23	16
度々訪問する機会がある	47	35
居住経験がある	15	11
無回答	1	0
合計	103	67

➡ 学年による有意な差があるとはいえない ($\chi^2=4.45$, $p=0.348$)

※ 2回生：61件 3回生：1件 4回生：5件

Googleマップから取得した情報の概要

● Googleマップの各スポットの情報

- Googleマップにて各地点をクリックした際に出てくる右図のような情報を地域別に整理し、各地域の特徴をとらえたい
- 具体的には、
スポットの名称（右図だと「金剛第二住宅公園」）
種類（右図だと「公園」）
評価値（右図だと「4.5」）
住所 等

スポットデータの例



実際に取得できた情報の例

※例えば、レビュー数50件以上の飲食店について
評価の高い順に並べた場合

name_ja	primary_type_ja	type_追記	rating	userf	address_ja	lat
こころとカラダにご褒美ご飯 cafe KaMuNa	テイクアウト	飲食店	4.9	58	〒584-0024 大阪府富田林市若松町1丁目5-7	34
そば兆	レストラン	飲食店	4.7	53	〒584-0048 大阪府富田林市西板持町8丁目14	34
YAKINIKUEN 忍関 (にんぐ) 富田林店	和食店	飲食店	4.6	391	〒584-0092 大阪府富田林市昭和町1丁目2-3	34
つむる	カフェ・喫茶	飲食店	4.6	124	〒584-0054 大阪府富田林市甘南備1660-2	34
リバーサイド レストラン スリランカ カレー Riverside Restaurant Uk Si	レストラン	飲食店	4.6	118	〒584-0058 大阪府富田林市彼方100	34
麺処 松もり	ラーメン屋	飲食店	4.6	92	〒584-0054 大阪府富田林市甘南備1015	34
天ぶら三丁目	和食店	飲食店	4.6	81	〒584-0021 大阪府富田林市中野町3丁目1-2	34
ラーメン新屋台 大我	ラーメン屋	飲食店	4.5	1184	〒584-0025 大阪府富田林市若松町西2丁目1402	34
グルメたこ焼きのお店かつらぎ	テイクアウト	飲食店	4.5	387	〒584-0074 大阪府富田林市久野喜台1丁目2-	34
すし広 富田林	寿司店	飲食店	4.5	191	〒584-0031 大阪府富田林市寿町3丁目4-1	34
パンリノハル ビアホール	和食店	飲食店	4.5	108	〒584-0033 大阪府富田林市富田林町21-22	34
割烹・寿司 魚よし	寿司店	飲食店	4.5	56	〒584-0048 大阪府富田林市西板持町7丁目11	34
インド料理&バー シタル	インド料理店	飲食店	4.4	161	〒584-0062 大阪府富田林市須賀138-1 サン	34
STREAMER COFFEE COMPANY TONDABAYASHI DINER	カフェ・喫茶	飲食店	4.4	146	〒584-0011 大阪府富田林市宮町1丁目1-22	34
KitchenBulldog	和食店	飲食店	4.4	143	〒584-0036 大阪府富田林市甲田3丁目13-4	34
ステーキレストラン 千一夜	ステーキハウス	飲食店	4.4	123	〒584-0065 大阪府富田林市金剛伏山台12-1	34
ルボワール	ベーカリー	飲食店	4.4	88	〒584-0073 大阪府富田林市寺池台1丁目8-3	34
古民家彼方 レストラン&カフェ・ドッグラン	インド料理店	飲食店	4.4	85	〒584-0058 大阪府富田林市彼方527	34
手打ちそばうら田	和食店	飲食店	4.4	70	〒584-0036 大阪府富田林市甲田1丁目1-24	34
ジュイール	デザートショップ	飲食店	4.4	62	〒584-0071 大阪府富田林市藤沢台3丁目2-4	34
大衆鰻屋うな八	和食店	飲食店	4.3	480	〒584-0031 大阪府富田林市寿町3丁目7-15	34
菓子工房yamao	ベーカリー	飲食店	4.3	252	〒584-0071 大阪府富田林市藤沢台6丁目3-1	34
中国料理 蓮花	中華料理店	飲食店	4.3	118	〒584-0073 大阪府富田林市寺池台3丁目23-	34
とんかつの山田屋 富田林本店	テイクアウト	飲食店	4.3	115	〒584-0048 大阪府富田林市西板持町8丁目2-	34
とんかつ お食事処 利信	和食店	飲食店	4.3	115	〒584-0082 大阪府富田林市向陽台5丁目4-1	34
きばらし	和食店	飲食店	4.3	85	〒584-0036 大阪府富田林市甲田3丁目9-11	34

今年度の取組予定

● 富田林市の認知度に関する課題 → 引き続き認知度調査

- 昨年度の調査では、大阪大谷大学の学生について、大学周辺地域に目を向けている学生が多いとは言い難い状況。
 - 今年度も同様の調査を行って、認知度の変化を把握する。
- ➡認知度の変化の状況によっては、広報手段を検討する必要がある。

● スポットデータの活用について

- 現在は情報が取得できた段階で終わっているため、この情報をより気軽に閲覧できるような形式にしたい。